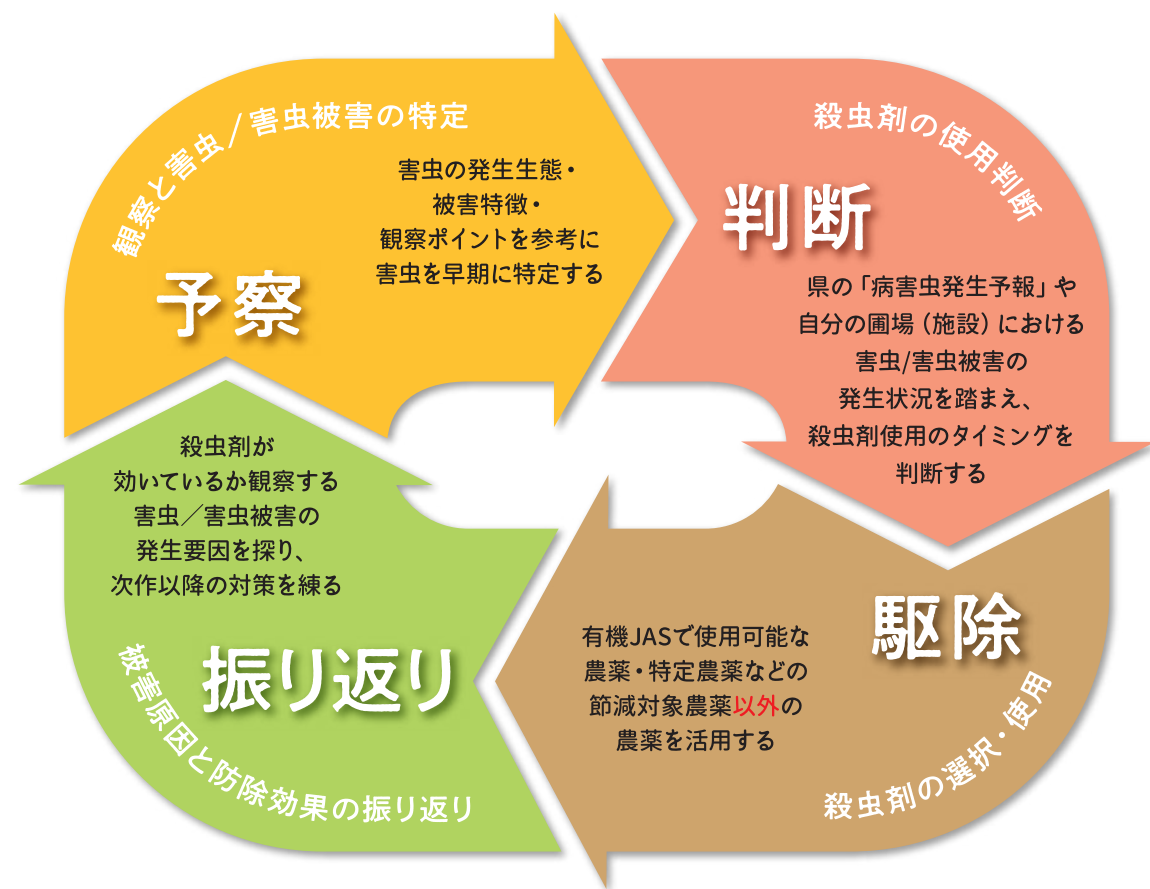


Point 02 防除 増やさない! : 害虫の防除

ここでは害虫が発生してしまった場合の「増やさない」取り組みを紹介します。
害虫の防除においては、以下の「予察」「判断」「駆除」「振り返り」のサイクルを徹底しましょう。



POINT! 農薬選択のポイント

1. 節減対象農薬以外の農薬

- ・気門封鎖剤などの節減対象農薬以外の農薬は使用回数制限がなく、薬剤抵抗性がつきにくいので、積極的に活用し、害虫密度を初期のうちに減らしておきましょう。
- ・ただし、使用回数制限がない農薬でも、特裁で節減対象となる(使用回数がカウントされる)農薬があります。沖縄県の節減対象農薬以外の農薬一覧を確認しましょう。

2. 病害虫の見極めと効果的な農薬の選択

- ・ニンジンで特裁基準を達成するには、節減対象成分使用回数を3回に抑える必要があります。予察・判断を徹底した上で、病害虫被害が発生したら、対象病害虫に効果的な農薬を選択しましょう。
- ・また、前作で病害虫被害が発生した場合は、播種時に粒剤等を使用するなど予防を心掛けましょう。

POINT! 気門封鎖剤の使い方

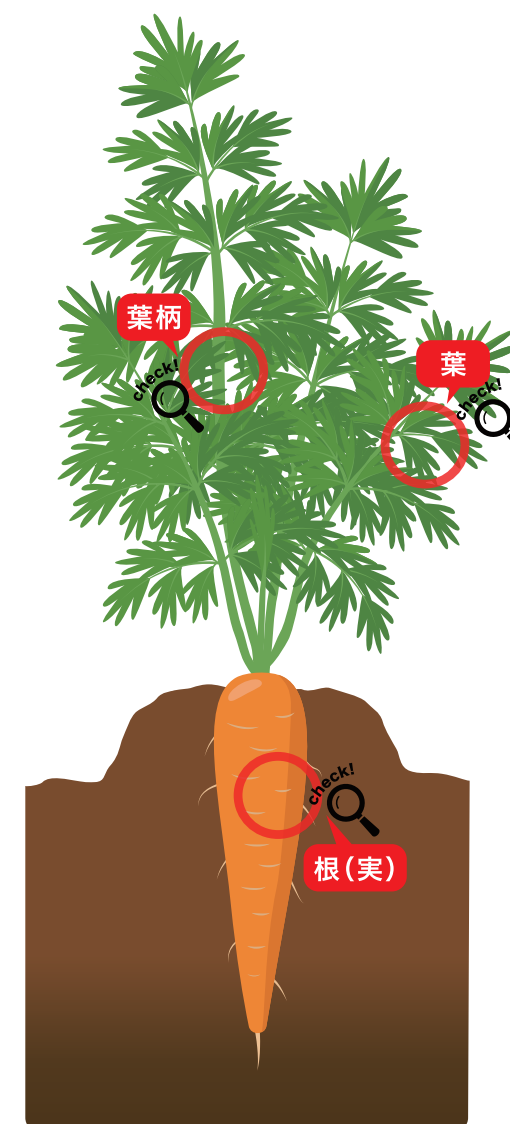
- ・薬剤が十分かかるように、ムラなく葉裏も含め丁寧に散布
- ・物理的に対象害虫を気門封鎖で窒息死させる剤であり、直接かからないと防除効果が発揮されない
- ・対象害虫の密度が上がる前に散布
- ・発生密度が高い場合は散布間隔を短くする

沖縄県の節減対象農薬以外の農薬一覧をチェック!



ニンジンの主要害虫と観察ポイント

「増やさない」サイクルのうち、害虫の発生を初期で抑えるための「予察」ポイントを取り上げます。害虫被害が発生しやすい箇所と症状を把握しましょう。



① ネキリムシ

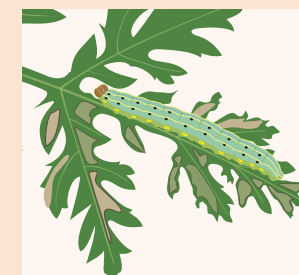
発芽から間もなく地際部から切断されるか、間引き時期に葉柄が切断される。激発すると根部もネズミがかじったように食害する。



詳しくは p.27

② ハスモンヨトウ

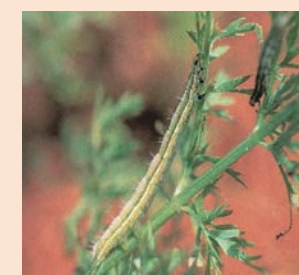
若齢幼虫は葉裏から集団で表皮を残して食害し、白いかすり状の食害痕を残す。老齢幼虫は激発すると葉脈を残して葉を食べつくし、生育不良を引き起こす。



詳しくは p.27

③ ネットアイクキンウワバ

葉や地際部根茎を食害する。老齢幼虫は大きく、食べる量も多い。



詳しくは p.27

主な病気の発生生態と対策

① ネキリムシ



昼は土に潜み、
夜に食害
老齢幼虫は
40mm程度

発生生態

- ・ 地表面や地表近くの枯葉に1～2粒ずつ産卵する
- ・ 若齢幼虫は下位葉の裏や心部に生息、中齢幼虫は昼間は土中に潜り、夜間食害する

対策

- 圃場内の除草を徹底する
- 初期に薬剤防除を行う

② ハスモンヨトウ



発生生態

- ・ 卵塊が葉裏に産み付けられ、5～9日で孵化する。
- ・ 老齢幼虫は日中は土中に生息し、夜間食害することが多い

対策

- 圃場内及び周囲の除草作業を初期から行う
- 老齢幼虫は薬剤の効果が悪いため、薬剤防除は若齢期の早い段階で行う

ハスモンヨトウの防除に使用できる節減対象農薬以外の農薬(※1)

IRACコード	系統名	農薬名
11A	BT剤	サブリーナフロアブル、ゼンターリ顆粒水和剤、バシレックス水和剤、デルフィン顆粒水和剤
UNF	微生物	バイオセーフ

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.20参照)

※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がニンジン、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

③ ネットイキクキンウワバ



被害根

葉・地際部
根茎を食害
終齢幼虫は
40mm程度

発生生態

- ・ 幼虫はセンダングサ等にも寄生し増殖する
- ・ 多発すると圃場全体に被害が拡大する

対策

- 圃場内及び周囲の除草を徹底する



成虫

葉に産卵
成虫は
18mm程度

事例紹介

沖縄本島中部に設置したモデル圃場における農薬散布実績を特別栽培区(特裁区)と慣行栽培区(慣行区)についてご紹介します。

農薬散布実績

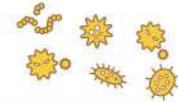
栽培概要 : 15ページ参照
散布期間 : 2023/10/19～2024/2/6
節減対象農薬使用回数 : 3回 慣行基準(6回)の50%(3回以下)削減で特裁基準達成
特裁区における対策 : 除草剤を2種類使用し、節減対象成分使用回数が3回に達するため、可能な限り節減対象外の農薬を使用した。
ただし、太陽熱消毒実施区では収穫まで雑草が発生せず、除草剤を使わずに済んだことから、節減対象農薬の使用回数に余裕をもって防除に臨むことができた。

ニンジンのモデル圃場(中部)における時期別農薬散布状況の比較

散布時期	対象	特裁区		慣行区
		①太陽熱消毒実施	②太陽熱消毒未実施	
土づくり時期	雑草	太陽熱消毒	—	—
播種直後	一年生雑草	—	①ゴーゴーサン細粒剤F	①ゴーゴーサン細粒剤F
本葉 3～5枚	一年生雑草	—	②③ファンクロスWG	②③ファンクロスWG
	ネキリムシ類	—	—	④ガードベイトA
	うどんこ病、斑点病、黒葉枯病等	—	—	⑤ベルコートフロアブル
本葉 10枚程度	アオムシ、ハスモンヨトウ	デルフィン顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤
	黒葉枯病、軟腐病	—	Zボルドー	—
	うどんこ病、斑点病、黒葉枯病等	①ベルコートフロアブル	—	—
	黒葉枯病	—	—	⑥ポリオキシシンAL水和剤
節減対象成分使用回数		1回	3回	6回
使用した節減対象農薬以外の農薬の種類		1種類	2種類	

※ 表中、特裁区欄の緑色は節減対象農薬以外の農薬、赤色は選択性殺虫剤を示す。

ニンジンの主要病害登録殺菌剤一覧



FRACコード	系統区分	病害虫名 農薬商品名	うどんこ病	センチュウ類	ネコブセンチュウ	萎凋病	節減対象農薬 以外の農薬(※1)／◎
—	その他(気門封鎖剤)	ムシラップ	●				
		粘着くん液剤	●				
		フーモン	●				
		エコピタ液剤	●				※本剤の取扱いについては、営農支援課にお問い合わせください
		サフオイル乳剤	●				◎
	脂肪酸(気門封鎖剤)	アカリタッチ乳剤	●				
		サンクリスタル乳剤	●				
NC	炭酸水素塩	カリグリーン	●				
NC、M01	炭酸水素塩、無機銅	ハーモメイト水溶剤	●				
		ジーファイン水和剤	●				
BM02	微生物	タフパール	●				
		インプレッションクリア	●				
		パチスター水和剤	●				
		ボトキラー水和剤	●				
		ボタニガードES	●				
UNF	無機硫黄	イオウフロアブル	●				
		クムラス	●				
		硫黄粉剤50	●				
3	EBI	トリフミン水和剤	●				
IRAC:8A、8F	MITC、その他	ディトラベックス油剤		●		●	
11	オキシムエーテル	ファンタジスタ顆粒水和剤	●				
1A	カーバメート	バイデートL粒剤			●		
M7	グアニジン	ベルコートフロアブル	●				
11、7	ストロビルリン、カルボキシアミド	シグナムWDG	●				
11、M5	ストロビルリン、有機塩素	アミスターオプティフロアブル	●				
M03	その他	バスアミド微粒剤			●	●	
		D-D			●		
		テロン			●		
		キルバー			●		
IRAC:1B	有機リン	ネマキック粒剤			●		
		ネマトリンエース粒剤			●		
IRAC:8B	有機塩素	クロールピクリン		●			
		クロルピクリン錠剤		●			
IRAC:8A、8B	有機塩素、その他	ソイリーン			●		
		カヤクダブルストッパー			●	●	
M1	有機銅	ヨネボン水和剤	●				

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.20参照)

※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がニンジン、野菜類で当該病害に適用のあるものを記載しています

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

ニンジンの主要害虫登録殺虫剤一覧



IRACコード	系統区分	病害虫名 農薬商品名	ネキリムシ類	ハスモンヨトウ	節減対象農薬 以外の農薬(※1)／◎
11A	BT	サブリーナフロアブル		●	◎
		ゼンターリ顆粒水和剤		●	
		デルフィン顆粒水和剤		●	
		バシレックス水和剤		●	
UNF	微生物	バイオセーフ		●	
1A	カーバメート	ランネット45DF		●	
28	ジアミド系	ベネビアOD		●	
5	スピノシン	ディアナSC		●	
22B	その他	アクセルフロアブル		●	
		アクセルベイト	●	●	
3A	ピレスロイド	フォース粒剤	●		
		ガードベイトA	●		
UN	プロペニルオキシフェニル	プレオフロアブル		●	
6	マクロライド	アフーム乳剤		●	
1B	有機リン	エルサン乳剤		●	
		ネキリエースK	●		
		ダイアジノン粒剤5	●		
8B	有機塩素	クロールピクリン	●		

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.20参照)

※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がニンジン、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

本マニュアルは、
特別栽培農産物認証等推進・普及事業（沖縄振興特別推進交付金）における
特別栽培農産物認証の栽培マニュアル作成委託業務（委託先：株式会社マイファーム）の
成果を活用して作成しました。

本マニュアルを作成するにあたり、下記の方々をはじめ、
多くの方々や関係機関にご協力を賜りました。

心より感謝申し上げます。

五十音順、県関係者の所属は省略

＜情報・データ提供＞

沖縄協同青果株式会社
沖縄県農業協同組合農業 振興本部営農販売部（青果）・生産資材部
スガノ農機株式会社
第一農薬株式会社
琉球産経株式会社
琉球肥料株式会社

＜写真提供＞

沖縄県植物防疫協会
中部農業改良普及センター

＜編集協力＞

沖縄県農林水産部
営農支援課農業革新支援班
農業研究センター
北部農林水産振興センター 農業改良普及課
宮古農林水産振興センター 農業改良普及課
南部農業改良普及センター
病害虫防除技術センター

安次富 厚氏	棚原 尚哉氏
上里 卓己氏	比嘉 基晶氏
上原 弘樹氏	儀間 靖氏
神里 春樹氏	長浜 隆市氏
喜久村 智子氏	細川 理恵氏
座波 幸司氏	宮城 明生氏
島谷 真幸氏	宮城 徳道氏



令和7年発行
沖縄県特別栽培農産物栽培マニュアル
作物編 ニンジン

監修・発行 沖縄県農林水産部営農支援課
沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL: 098-866-2280

編集 株式会社マイファーム
意匠・印刷 カラーズプロダクション

